

令和6年7月1日

令和6年第2回神奈川県議会定例会

社会・健康対策特別委員会資料

1	ヘルスケア・ニューフロンティアの推進について……………	1
(1)	取組の方向性……………	1
(2)	具体的な取組……………	1
2	未病改善の取組について……………	4
(1)	ライフステージに応じた未病対策……………	4
(2)	未病改善を支える社会環境づくり……………	8
(3)	健康情報の活用による効果的な施策の推進……………	9

## 1 ヘルスケア・ニューフロンティアの推進について

超高齢社会を乗り越え、様々な社会的課題の解決に取り組んでいくために、ヘルスケアの分野で「最先端医療・最新技術の追求」と「未病の改善」という2つのアプローチを融合させ、持続可能な新しい社会システムを創造していく。

### (1) 取組の方向性

#### ア 最先端医療・最新技術の追求

- 最先端医療や最新技術をいち早く県民に届けるため、特区制度の活用や県内のサイエンスパークを中心とした関連企業等の集積、大学と連携したイノベーション人材の育成、新たなイノベーション創出に向けたコーディネート機能の発揮などを通して、社会実装に取り組む。

#### イ 未病（ME-BYO）

- 未病指標について、高齢者や働く世代などのニーズに応じた利活用や企業の健康経営への導入を促し、生きがいの実現につながるライフスタイルの見直しや社会参加の促進に取り組む。
- 地域の健康課題解決に向けて、介護や寝たきりなどの主な原因である脳卒中やフレイル、認知症について、産学公連携による商品・サービスの技術開発・実証等を進める。

#### ウ 国際展開

- 海外機関等とのネットワークを活用し、企業等の国際展開支援に取り組むとともに、世界保健機関（WHO）等と連携し、「エイジフレンドリーシティ（高齢者に優しい地域づくり）」の推進や健康な高齢化に向けたイノベーションの促進に取り組む。

### (2) 具体的な取組

#### ア 県内イノベーション拠点を活用した取組

##### (ア) 殿町地域

再生・細胞医療の産業化に向けて、企業やアカデミア等の共同提案事業が、令和5年度に経済産業省の「再生・細胞医療・遺伝子治療の社会実装に向けた環境整備事業費補助金」（補助額：最大で約14億円）に採択され、東日本の再生医療ネットワークの構築を目指して、企業やアカデミア等と連携した取組を進めている。

また、今年度から一般社団法人RINKを中心に関係機関によるプロジェクト運営会議を定期的（毎月1回程度）に開催し、殿町・羽田地区の再生・細胞医療の産業化に向けた取組を推進する。

(イ) 湘南地域

地域の健康課題解決に向けて、本県が幹事自治体として参画するプロジェクトが、科学技術振興機構（JST）の令和5年度「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）」地域共創分野の育成型に採択され、昨年11月に湘南アイパークに設置された横浜国立大学の「新湘南共創キャンパス」を拠点に、湘南地域の産学公連携プロジェクトを推進する。

また、湘南地域を中心とした科学技術イノベーションを社会へ届けるため、大学やスタートアップ企業等が持つ技術や知的財産の発掘やその育成・活用の支援を行う。そして、当該技術等を活用して商品・サービス化し社会実装していくため、専門家がサポート・コーディネートする取組を推進する。

イ ME-BYO BRAND

優れた未病産業関連の商品・サービスを県が認定することにより、県民の未病改善の取組を推進するとともに、未病産業の魅力を広め、産業化の牽引を図る。3月に新たに8件を認定し、全体で40件となった。

<参考>新たに認定したもの

	商品・サービス（企業名）
1	認知機能チェック “のうKNOW®” （エーザイ株式会社）
2	遺伝子検査サービス “Genovision Dock（ゲノビジョン ドック）” （NTTライフサイエンス株式会社）
3	脳の海馬の育成に着目したアプリ “BrainUp（ブレインアップ）” （株式会社CogSmart）
4	“ウェアラブル生体センサBIT®及び解析サービス” （株式会社人間と科学の研究所）
5	“女性ががん早期発見サポート特約” （はなさく生命保険株式会社）
6	産後ケアアプリ “mamaniere（ママニエール）” （株式会社ポーラ）
7	腸内環境の評価等に関するサービス “MGPack™”

	(株式会社メタジェン)
8	がんスクリーニング検査 “メタロ・バランス検査” (株式会社レナテック)

## ウ 未病産業研究会

企業間連携による新しい商品・サービスの創出・育成など、未病産業の創出・拡大を図るため組織した「未病産業研究会」(令和6年5月1日時点会員数1,135社)において、未病に関する情報提供や企業間の連携を促進するため未病産業研究会全体会を開催した。

- ・開催日 令和6年6月10日(月)
- ・参加者 未病産業研究会会員企業
- ・主な内容 未病に関する市場動向や規制等についてのアカデミアの研究者からの講演、高齢運転者対策の概要や課題についての県警察本部からの講演を行ったほか、参加企業間の交流を促進した。

## 2 未病改善の取組について

超高齢社会を迎えている中、子どもから高齢者まで誰もが笑って元気に生き生きとくらしをすることが重要であり、SDGs のゴールにも通じています。

そこで、すべての世代が未病を自分のこととして考え、「食・運動・社会参加」の3つを柱とする未病改善に取り組めるよう、企業、団体、市町村などと連携しながら、ライフステージに応じた対策や、気軽に実践するための環境づくりなどを推進しています。推進に当たっては、健康に関する様々なデータ分析や活用を行うなど、より効果的なものとなるよう取り組んでいます。

### 未病改善の主な取組

#### (1) ライフステージに応じた未病対策

##### ア 未病対策普及啓発事業（子どもの未病対策）

企業・団体に登録いただいた「子どもの未病対策応援プログラム」を、幼稚園や保育所から要望を受けて調整し、幼稚園等で実施（平成30年度～）。

#### (ア) これまでの取組

##### ○ 直近3年間の実績

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
実施回数	36回	64回	40回
参加者	1,263人	2,351人	1,359人

#### (イ) 令和6年度の取組

広報強化により、プログラム実施希望保育園等が増加した。今後は、プログラム提供企業の掘り起こしも強化していく。

##### ○ プログラム例（令和6年度は7企業・団体、8プログラム予定）

湘南ヤクルト販売株：「幼児版 おなか元気教室&おなか体操」  
雪印メグミルク株：「牛乳のおはなし」

##### イ 未病女子対策推進事業（未病女子対策）

女性の健康問題（やせ過ぎ、ライフスタイル変化に伴う女性特有疾患の低年齢化等）に焦点を当て、女性が自らのこととして未病改善に取り組むよう、普及啓発を実施。

(ア) これまでの取組

- a ウェブサイト「未病女子 navi」、LINE「未病女子 LINE かながわ」の管理・運営

平成 28 年度にサイトを開設し、累計アクセス件数は 1, 243, 441 件(令和 5 年度は 165, 113 件)、LINE ともだち登録数は 4, 568 件。

- b 大塚製薬(株)との共催によるセミナーの開催

令和 5 年度は「未病女子セミナー～もっと生き生きと。もっと自分らしく輝くために。伝えたい“未病”のための女性医学」をオンライン開催。

- c 普及啓発ツールの提供

啓発冊子『「女性のカラダ」と「栄養」のはなし』を日経 BP 総合研究所と共同作成。(配布先: 県内市町村母子保健事業所管課、配布部数 42, 135 部)

(イ) 令和 6 年度取組

引き続き、ウェブサイトや LINE の管理・運営、企業との協働によりセミナー等を実施予定。

**ウ 働く世代の女性の運動促進事業(働く世代の未病対策)**

本県の女性が抱える体の不調の主要な要因が、腰痛や肩こり、関節の痛みであることを踏まえ、運動する時間が取りにくい本県の働く世代の女性に行動変容を促すため、就業時間内で運動する職場訪問事業や、女性に向けた未病改善情報を掲載する未病女子 navi へ誘導するバナー広告等を実施。

(ア) これまでの取組(令和 5 年度)

- a 職場訪問エクササイズ事業

企業等にエクササイズ事業者(スポーツトレーナー等)を派遣し、従業員に対して、就業時間内に全 5 回の運動プログラムを提供する委託事業を実施。加えて、県が仲介し、エクササイズ事業者の負担で、企業等に従業員向けの運動プログラムを提供するマッチング事業も実施した。

- b 運動する時間が取りにくい本県の働く世代の女性に行動変容を促すため、手軽に取り組めるエクササイズ動画を掲載した未病女子 navi に誘導するインターネット広告を実施。

(イ) 令和6年度の取組

- ・ 市町村とも連携を図りながら、職場訪問エクササイズ事業（マッチング）を実施予定。
- ・ スポーツ課との連携による、未病女子 navi に掲載する特集記事の作成・掲載や、広報物の作成・配布、未病女子 navi に誘導するバナー広告等を実施予定。

**エ オーラルフレイル対策による健康寿命延伸事業（高齢者の未病対策）**

オーラルフレイルは全身の衰えのサインのため、高齢者がオーラルフレイルであることを早期に自覚し、全身の衰えが軽微な段階から未病改善に取り組めるよう、オーラルフレイルの周知や、オーラルフレイル改善プログラムの普及啓発を実施。

(ア) これまでの取組（令和5年度）

- ・ 高齢者等向け出前講座の実施 実施回数 10 回、参加者 173 人
- ・ 高齢者施設等職員向け研修の実施 実施回数 4 回、参加者 12 人
- ・ 歯科診療所向け研修の実施 実施回数 1 回、参加者 75 人
- ・ オーラルフレイル改善プログラムの提供を開始する歯科医療機関への検査機器貸与 32 機関

(イ) 令和6年度の取組

高齢者向け出前講座や、関係者向け研修を実施し、オーラルフレイルに関する最新の知見等を周知するとともに、オーラルフレイル改善プログラムの提供を開始する歯科医療機関を支援し、対応できる歯科医療機関を増やしていく。

**オ 認知症未病改善推進事業（高齢者等の未病対策）**

認知症未病改善プログラムである「コグニサイズ」の全県展開を進めているほか、高齢者の未病改善に資する「通いの場」について、市町村を通じて支援する取組を実施している。

(ア) これまでの取組（令和5年度）

a コグニサイズ関係

- ・ フォローアップ講師派遣  
県内で 127 回、コグニサイズの教室等に講師を派遣。  
(総参加者数：2,643 名)

- ・ 認知機能評価促進事業  
 コグニサイズの効果測定する指標の利用研修を、県内市町村及び地域包括支援センター職員を対象に実施。  
 (受講者数：216名)
  - ・ コグニサイズ地域ミーティング  
 コグニサイズの自主グループ等の交流会 (参加者：413名)。
- b 高齢者の「通いの場」関係
- ・ 通いの場への専門職員派遣  
 通いの場に理学療法士等の専門職員を派遣 (延べ10回)。
  - ・ 市町村介護予防事業支援のための人材育成講座  
 通いの場など介護予防事業に係る市町村の担当者・専門職、通いの場の運営者等を対象に研修を実施  
 (年2回、参加者：計120名、後日オンデマンド配信も実施)。

(イ) 令和6年度取組

これまでの取組に加え、認知機能評価ツールや、有効な介入モデルを紹介・体験できる機材等を搭載した車両で、県内各地を巡回訪問する「認知症未病改善キャラバン」(年間40か所以上)を新たに実施するなど、認知症未病改善の概念を広める取組を促進する。

**カ 心ころ・つなげよう電話相談事業 (心ころの未病対策)**

県民を対象に専用電話で昭和52年から心の健康に関する相談を受けている。令和4年11月より毎日24時間実施とし相談体制を整備、自殺対策の一つとして取り組んでいる。

(ア) これまでの取組

平成23年よりフリーダイヤルに変更し、また令和4年11月より24時間対応とした。令和3年度7,966件から令和4年度は21,064件、令和5年度は38,576件の相談実績となっている。

(イ) 令和6年度取組

通話が繋がりにくいなど、ニーズに十分対応しきれていない課題があるため、回線増とともに、希死念慮があるなどのより重篤・緊急な相談に対応する専用相談回線を設置し、相談体制の強化を図り取り組んでいく。

## (2) 未病改善を支える社会環境づくり

### ア 未病対策普及啓発事業

県民が未病改善に取り組めるよう、「未病センター」の設置や利用を促進するとともに、県の未病改善の取組に賛同する企業・団体による「健康支援プログラム」を公設未病センターで展開。

#### (ア) これまでの取組

##### a 未病センター設置数

平成 26 年度に認証を開始。現在、公設 28 箇所、民営 56 箇所、合計 84 箇所を認証。

##### b 健康支援プログラム例

湘南ヤクルト販売(株)：「大人版 おなか元気教室」

(株)ツムラ横浜支店：健康のために漢方の考え方を知るプログラム「今の自分の体調を知ろう（未病）編」

#### (イ) 令和 6 年度の取組

広報ツール等を活用し、引き続き、「未病センター」の設置や利用を促進するとともに、健康支援プログラムを実施する。

### イ me-byo エクスプラザの運営

未病バレー「ビオトピア」内において、未病を知り、楽しみながらライフスタイルを見直すきっかけとなる体験型施設「me-byo エクスプラザ」を運営。

#### (ア) これまでの取組

【me-byo エクスプラザ来場者数】平成 30 年 4 月から運営を開始し、令和 5 年度末までに約 51 万人が来場。

#### (イ) 令和 6 年度の取組

引き続き、me-byo エクスプラザの運営を行うとともに、新たにバーチャルサイクリング機器を 2 台導入予定。

### ウ 県西地域における未病改善の実践促進

「食」「運動」「癒し」の各分野において、未病改善の実践に取り組む「未病改善レッスン」のプログラムを開発し、未病バレー「ビオトピア」や県西地域の未病センターで講座を実施。

また、未病改善の実践につなげるための情報発信として、「未病いやしの里の駅」（未病に関する情報発信や普及啓発に協力する観光施設等）を紹介するパンフレットを作成・配布。

(ア) これまでの取組

a 未病改善レッスン

令和3年度にプログラムを開発し、令和4年度及び令和5年度に計26回ずつ講座を実施。

b 未病改善に係る情報発信

未病いやしの里の駅を紹介するパンフレットを年2回発行し(令和5年度は計40,000部)、未病いやしの里の駅のほか、交通機関、イベント会場等で配布。

(イ) 令和6年度取組

引き続き、未病改善レッスンや未病改善に係る情報発信を実施。

a 未病改善レッスン

計26回の講座を実施予定。

b 未病改善に係る情報発信

未病いやしの里の駅を紹介するパンフレットを作成・配布予定。

(3) 健康情報の活用による効果的な施策の推進

ア 保健医療データ活用事業

市町村の保健医療データ活用に係る取組を支援し、市町村にて保健医療データに基づく効率的・効果的な健康づくり事業が着実に促進されるようにすることで、県民の未病改善及び医療費適正化に繋げていく。

(ア) これまでの取組

a 保健医療データ分析

県内全33市町村及び県後期高齢者医療広域連合に係るKDB(保健事業の計画の作成や実施を支援するため、国保連合会が「健診・保健指導」等の各種データを利活用して、「統計情報」等を作成するシステム。)からの出力データのほか、人口動態統計等、様々な保健医療データを収集・加工・分析し、平成30年度以降、県内全市町村等へ提供するとともに、保健医療データの活用に係る市町村からの相談にも対応した(県立保健福祉大学に委託)。

b 保健医療データ活用研修

地域における保健医療データ活用力を底上げし、主体的な保健医療データ活用を促進するため、市町村の国民健康保険主管課職員等を対象として、地域における健康課題の解決方法の検討に必要な保健医療データ分析知識・技術の習得を図る研修を実施した。

・研修実施回数及び受講者数

区分	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
全体	1回	動画配信形式	動画配信形式	動画配信形式	3回
研修	25人	10人	32人	58人	118人
地区別	16回	8回	11回	10回	21回
研修	243人	82人	274人	104人	234人

c 保険者努力支援制度評価点向上支援

市町村の保険者努力支援制度評価点向上を目指し、令和3年度に保険者努力支援制度評価点の向上に資する情報を市町村へ総合的に提供するための「保険者努力支援制度評価点向上支援ポータルサイト」（市町村向けポータルサイト）を作成した。また、令和4年度に県民・アカデミア・企業向けに保健医療に係る情報やサービスを発信していく県民向けポータルサイトを作成し、市町村からの要望を取り込み、継続的な改善を行っている。

(イ) 令和6年度の取組

a 保健医療データ分析

引き続き、様々な保健医療データを収集・加工・分析し、各市町村へ提供するとともに、保健医療データの活用に係る市町村からの相談に対応する。

b 保健医療データ活用研修

引き続き、市町村の国民健康保険主管課職員等を対象として、各地域における健康課題の解決方法の検討に必要な保健医療データの分析知識や技術の習得を図る研修を実施する。

c 保険者努力支援制度評価点向上支援

「市町村向けポータルサイト」及び「県民向けポータルサイト」について、市町村の保険者努力支援制度評価点の向上に資する情報をより効率的に提供し、市町村の利便性を向上させるため、更なる改善（ユーザビリティの向上、コンテンツの充実・時点修正等）を行う。

イ ME-BYO BRAND

未病の見える化などで、優れた未病産業関連の商品・サービスを県が認定する。

(ア) これまでの取組

県民の未病改善の取組を推進するとともに、未病産業の魅力を広め、産業化の牽引を図るため、ME-BYO BRANDについて、令和6年3月28日（木）に新たに8件を認定した。

※ 新たに認定したものは、「1 ヘルスケア・ニューフロンティアの推進について」（2）イに記載のとおり。

(イ) 令和6年度取組

展示会や未病普及啓発イベント等において積極的にPRを行い、未病産業の魅力を広めるなどの活動を展開していく。